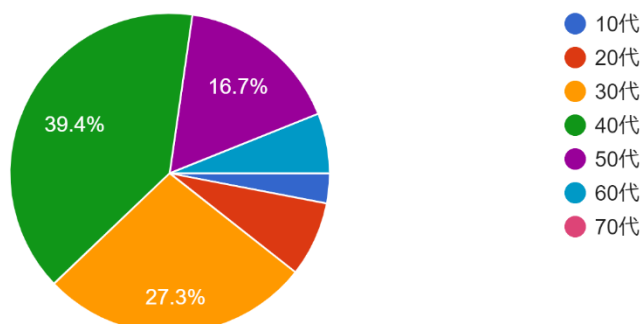


<仙台市民向け>「子どもの権利・子ども条例」仙台市についてのアンケート調査 回答数64件

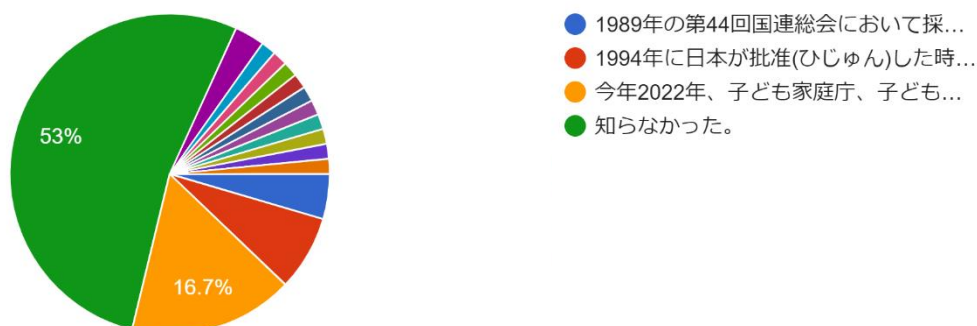
世代を教えてください

64件の回答



Q1.「国連・子どもの権利条約」を知っていますか？(ひとつ選択)

64件の回答



※その他の回答内容

子どもの居場所づくりをし始めて、知りました。

他県の市民団体の活動で知りました

2022年より前にどなたかの SNS 投稿から知りました

東京都でこども基本条例が審議される時に知りました。

仕事で、学ぶ機会あり、内容自体はその際に詳細知りました。3年前です。

学校で教わった 3名

知人に教わった

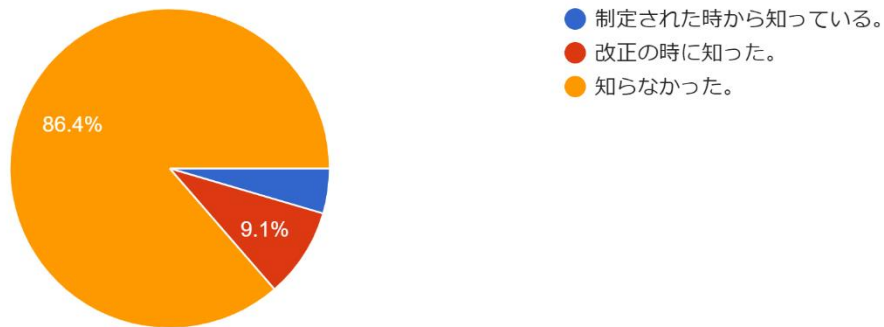
大学で学んだ時から

母から知った

中学生の時授業で習った

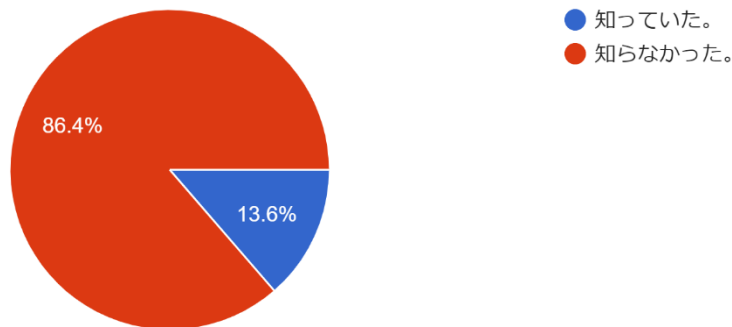
Q2.「みやぎ子ども・子育て県民条例」があることを知っていますか？(ひとつ選択)

64 件の回答



Q3.仙台市には「子ども・子育てに関する条例」が無いことを知っていましたか？(ひとつ選択)

64 件の回答



Q4.仙台市について思うことがあればお聞かせ下さい。(記述)

※「要望」「アイデア、意見」「良いと思うこと」「課題、難点」の4項目に分類しました。

(1)遊び場、居場所、地域の環境などについて。57 件の回答

<要望>

- プレーパーク活動に予算をつけて欲しい。
- 親が働いているとか、年齢とか、障害とか制限なく、誰でも自由にいられる場所がほしい。
- 遊び場について、夕方になると公園の周りが街灯もなく暗い。防犯や交通事故を防ぐためにも街灯をつけてほしい。
- 子どもたちが、「何もしなくていい」居場所が必要と感じています。とにかく子どもたちは疲れています。神奈川県川崎市のこども夢パークのような施設を、ぜひ仙台にも創ってください!!
- 学童保育の充実。共働き世帯が安心して仕事ができるように、放課後、夏休み、冬休みの長期休暇中の子どもの居場所を考えてほしい。

●隣県にあるような室内遊具の充実した子供向け施設や親子で飲食できるスペースがかなり少ない。また、せっかくポケモンとコラボできるのであれば福島県のような子供向けの遊具やキッズルームを作ってほしい。宮城県は子供向け施設がかなり少なく、休日は大型ショッピングモールなどに子供が集中し密になるため感染拡大にもつながると思う。また、乳幼児と親が気軽に行けるようなサロンなど子育て世代の心のケアにも取り組んでほしい。

●大きい子育て支援センターが少ない。児童館は午後小学生が来館するので未就学児が午後も遊べる室内施設がもっと欲しい。

●公で行ってる子供の遊び場が少ない、駐車場も少なく不便。福島のラッキー公園のような、ラプラス公園などを作って欲しい。

●いじめ問題に取り組んで欲しい。時間かけてなあなあにするのではなく、早期に解決策出して欲しい。仙台の学校に預けるのが心配。

●公園の数が多くには驚きました！ですが、季節によって草がボーボーで遊べなかつたり場所によって整備も全然違うので整えて欲しいなあと思います。

●もっと子どもの育ちを真ん中に置いた環境づくりに目を向けて、管理する側の都合が前に出てる事を、減らして欲しい。

●不登校児の学校以外に日中居られる場所がない。フリースクールにも合う合わないがあるので無料で気軽に行けるフリースペースが欲しい。

●学校以外の遊び場はボール遊びが出来なかつたり遊具が少なかつたりと子供の遊びが制限されている。地域に住む人と遊ぶ子達の両方が心地よい形が欲しい。

<アイディア、意見>

●子どもは"地域の宝"を基本に、居場所作りや放課後ディの充実を図る。

●孤立しているママの支援

●安全な遊び場があると良い

●小さい頃に楽しい遊びで体を動かすことは後の心身の健全な発達に役に立つのではないと思う。そのため、子供たちにとって広い遊び場が必要だと思う。しかし、仙台は都市であるため田舎と比べると土地が少なく、広い遊び場を作るのは困難だと考えられる。そこで、学校の校庭や、大学のグラウンド等の広い土地を、時間を決めて市民向けに開放する等、土地の有効活用が求められると思う。

●児童館が地域の遊び場になるためには、学童保育対応専任の方と、自由来館の子中心に対応する方と分ける必要があるのではないか。

●居場所、安心できる遊び場が無いことは変えたほうが良い。子ども夢パークのような環境が当たり前にあることが必要。

<良いと思うこと>

●他の市町に比べたら、選択肢(数)はあると思います。質は望んだらきりが無いが、そこそこのレベルだと思う。

●私が以前暮らしていた東京と比べると身近なところに豊かな自然環境が残っているが、それを活かして遊んでいる子の姿をあまり見ず、もったいない。

●人どうしの距離感が丁度良いように感じる。

<課題、難点>

- 児童館の児童クラブの定員が毎年変わる不思議。建物のキャパに合わない定員は子どもたちがのびのび過ごすことができず悪循環である。
- 乳幼児向けの施設や行事などいろいろなところで行っているが実際子育て中のお母さんに浸透していない気がする。
- 子育て世代が気楽に集まれる環境が少ない。また、やってもあまり周知されていないと感じる。
- 子どもは児童クラブを利用していますが、長期休みの際は狭い室内で過ごす時間が長く、運動面で心配になることがある。
- 仙台市の環境は良いと思う。ただ、シニアが子育て世帯を嫌っているように感じる。嫌な思いを何度か経験した。
- 平日に外に出ている子どもをあまりみない。在宅で学ぶ子が自発的に動きたくても、動きづらい空気だと思う。地域の人たちの温かい眼差しが必要。
- 思いっきり身体を動かせる遊具がある公園が少ない
- 地域に広々とした外あそびのための空間がない。田んぼや畑はあっても勝手に入ることはもちろんできない。
- 小さな公園が多く利用しづらい
- 一部の方から苦情でボール遊びが制限され公園で遊べない。その代わり道路でボール遊びをして問題になっている。
- 放課後に小学校校庭の開放が無い。別地域に住んでいた時は開放されていたので、驚いた。
- 子どもの(周囲に気配りできない)遊び方も一因であるが、それを施設が原因とし禁止することで解決を図ろうとするのはおかしい(ボールが飛んできて危ないからボール遊び禁止など、ボール遊びが問題なのではなく遊び方(子ども個人)の問題)
- 時代やニーズの変化に対応できていなかったり、変化に過剰反応してピント外れの対応になっていると感じることがある
- 親の収入に左右される子がいる。所得制限や、給食費支払いなど。
- 民間の学童が少なく公立小学校の放課後の居場所の選択肢が限られている。とはいえ、児童館の先生方は限られた環境の中でよくやってくださっていますが。
- 公園が多く存在しても、遊具が劣化していたり、子供が興味関心を示す遊具がなかったり、そもそも公園で遊べる良い時期が限られていて、公園遊びが満足にできない。児童館の役割が理解できない。乳幼児向けのプログラムはないに等しく、小学生に対しては言葉や態度で適切でない職員が多く、子供が大切にされている実感がわからない。
- そもそも仙台市は子どもや子育て支援に関して優しくないし、偏見が多いのでとても子どもが育てにくい。公園の整備が行き届いていない。タバコの吸い殻が普通に砂場に落ちてる。砂場の砂も入れ替えてるのか疑問。猫の糞尿の匂いがするところがある。臭くて遊ばせられない。
- 仙台市は会員制や料金をとる民間の施設は多くありますが、障害がある子など誰でも気軽に過ごせる場所はほとんどないと感じる。児童館も狭い空間で、ただ時間がすぎるのを待つ場所という印象。長期休みのお弁当作りも保護者の負担だと感じる。
- 様々な体験することに格差があると思う。もっと放課後などに体験出来る環境が欲しい。
- 昔はあった学校が居場所や遊び場としての機能が失われている。

- ギガスクールやデジタル化に前のめりで、電磁波やブルーライトによる脳や神経への悪影響、視力や体力低下、コミュニケーション能力低下などについての対策について何も考えていない。
- 遊び場が減っている。
- 子供が通学、通塾以外で屋外で見るのが少ない
- 白石市のような大型室内遊び場が無い。民間業者の遊び場は高いし、公園の遊具はどこも古い。みすばらしい遊具があるか何も無いか。
- 室内で遊ぶ場所がない。山形まで遊びに連れて行っている状況。
- 子供が新生児の時期の助成が乏しい(他県でオムツの助成などがあるところもあるそうなので)
- 遊ぶところは駐車場料金はかかるは一時間いくら等またお金かかるはあまり連れていけない。
- 田舎と比べると、子供の数が多いのに対し、公園の広さは狭いように思える。そのため、広い公園でしかできない遊び(鬼ごっこやボッケ、ボール鬼、ケイドロ等)を仙台の子供達が行っているのを見たことがない。
- 駅前に小さな子供を連れた親が休憩出来そうなスペースがあまりない(と思う)。街灯が少ない地域もあり不安。
- 子どもが地域で自由に遊ぶことを大事にしようという意識を持っている人が少ない。
- 大人の公園が多い。遊具が大人の体操用。ボールが使えない。自転車遊びが出来ない。学校の校庭が放課後自由に使えない。
- 他県と比べ遊び場が少なく、特に屋内の施設は有料である。不登校の際の受け入れ場所も少ない。
- 児童館はママ達のグループができていて、たまにしか行かない私は居づらかった。
- 児童館は小学生の長期休暇中は未就学児利用できない。「利用していいですよ」と言われても、小学生につぶされそうで怖くて連れて行かなかった。
- のびすくや児童館は職員さんが子どもの相手をしてくれるわけでも、母親である私の話を聞いてくれるでもなく、遊ぶ場所が家から公共の施設へ変わっただけ、という感じで、息抜きにはならなかった。

(2)学び、学校、不登校支援などについて。 50 件の回答

<要望>

- 知り合いの子が不登校。学校に子どもを合わせるのではなく、子どもに合わせた学校のしくみに変わってほしい。
- 塾にたよらないでしっかり勉強を教えて欲しい。
- 共に育つ共育(旧態依然の学校教育ではなく)を主旨に、多様性を活かし合えるような、様々な選択性ある学びの場が今早急に、必然的に求めてられていることを痛感します。公民協力の下、小中高生の新たな学びの認可等の積極的推進を希望します。
- 公立小でのいじめや他の理由で、不登校になった場合、公的教育支援(不登校特例校)への授業料免除などの、支援が欲しい。
- 黙食継続には心底がっかりした。マスクももう自由にさせて欲しい。本来マスクも黙食も義務ではないはずだけど、3年も強制された子どもたちは、自分の意思でそれをやめることが出来なくなっていると思う。学校はもっと自由で楽しい場所であるべき。
- 放課後デイサービス利用料の収入制限を撤廃してほしい。一律 4600 円としてほしい。
- 幼稚園や保育園の待機児童削減のため強制退園や、家からかなり遠い保育園を勧められたりと共働き家庭への配慮が乏しい。関東の自治体のように駅にお預かりスペースを確保し、そこから送迎をしてくれるサー

ビスなど保護者が働きやすい環境づくりをしてほしい。保育園と学童への送り迎えはかなり体力的にも精神的にも負担になる。

<アイデア、意見>

- いじめや不登校が多いと聞く。学校でも調査のアンケートを行なっているがそのアンケートで不安に思っている人が本当に炙り出されているのかは疑問に思う。
- 自然学校などと連携して、気軽に学校以外での学び(林業・漁業・手仕事などの山村留学的な体験)が選択できたら良いと思う。例えば、水や空気がいのちを維持するために必要なこと。その山や森、海が担い手不足で困っていること。学校も子どもも地域も視野をひろげてみると、机の上だけではない学びや課題にみちている。学校に通わせることだけが目的になっていると、何のための学びかが見えてこないのも、不登校をきっかけに、より地域にひらけた学びや受け入れ体勢が必要だと思う。
- 障害のある子どもも普通学級を基本に、支援学級や支援学校も選べる原則にしてほしい。不登校特例校でなく、どんな子どもも選択肢があったらいい。仙台市として記述式のみで良いところを伝える通知表を推奨するのはどうか。
- フリースクールや通信制の教育を充実すべき。
- いじめ問題について、根本的に何かを見落としている気がする。過去の事件にちゃんと向き合い検証して、対策を立て直した方がいいと思う。残念ながら隠蔽体質は改善されていない。現場の先生方は意識し始めている様だが、対処できるほどの技量がないと感じる。学校内だけでは対処できないのではないかな。
- 不登校支援について、学校の枠をこえて、他校の方と交流できるようにしてほしい。学校内でクローズされている。
- 学校は学校、家庭は家庭と各々思っていて、学校と家庭の意見交換ができていないように感じます。先生方の意見を家庭に理解を求められるよう、もっと歩みよるきっかけをつくってはどうか。学校は家庭(保護者)に原因があり、家庭は学校に原因があると対立、溝があるように感じます。
- フリースクールの適正化が必要であると思う。ゲームだけをやらせていたり、生徒の自主性に任せるだけで市から助成金を受けている現実は無駄使いである。
- 不登校指導 虐めている子へのカウンセリングが必要
- 近視眼的な判断ではなく、本質的問題をとらえてほしい
- 協力できるものはしたいと思っている
- 先生や職員の方々は頑張っていると思います。一方で、条例が必要なのか、疑問。他の市町がやっているから、仙台も?また、行政で出来ることにも限界があるのでは。
- いじめアンケートは機能しているのかなと思いつつ毎年回答しています。中学校の先生方は、友達関係のいざこざは中途半端なところで関わらない方がいいと思っているようで、訴えない限りは何もされないのも、対応の指針がよくわからない時があります。
- 子どもが自ら学びたい事を決めれる機会を増やして、探求心が強い子供たちを増やすべきだと思う。
- 子どものいじめや不登校、自殺などを減らしたいのなら、大人の『命や健康よりも経済最優先』の価値観や考え方(政策)を改めるしかないと思う。
- 支援学校の登校時間が遅く、下校時間が早すぎる。働きたくても働けない親がたくさんいるのではないかな。
- 適応指導センターの、個別支援の回数が、週に一回2時間では少ない。もっと通いたい。ここなら毎日通いたいとなった時に、回数を増やせる為の体制づくり。個別と小集団の行き来が、年度内に変えられない事など、子どもに寄り添ったチャレンジしやすい環境作りをして欲しい。 <見遊の杜でのプライバシーの扱い>個別同

士の交流もできる環境。名前を出さない交流。曜日違うと繋がれなくなる事。せつかくの横のつながりをつなげない。継続の人も、毎年登録のし直しも、どうなのか。また、学校の規模によって、別室担当の先生がいるいないになっている点。支援必要な子どもがいる場合は、学校の規模に関わらず、人員を配置する体制づくり、必要と感ずます。学校の規模でできないんです、は、見放されてる気分。だったら、どうする?がなかなかない。地域の力を借りるなどは、できないのか? <体制づくり>先生が変わると変わってしまうシステムが多い。毎年先生によって、体制が変わる。学校ごとに、対策が違う。別室の扱い。専任がいるか。不登校児の扱いは、まだまだ、知る先生知らない先生がいる事。学校での不登校、別室利用者の横のつながり作りも、もっと自由でいいのでは?隠されがち。隠されたら子どもは悲しい。親も悲しい。悪いことをしてる印象。違いなだけ。放課後登校ならできる子に対して、対応できる時間は少ない。もったいない。

●不登校の学生数は多いと感ずるが、仮に十分な支援がされているのなら登校にこだわる必要はないと思う。

●今年子どもが小学生になるが、入学説明会に子どもを連れて来ないと言われて衝撃を受けた。見る人がいない場合、幼い子がいる場合などどうしろと言うのだろう。子育て家庭への理解が無さすぎて冷たく感ずた。

<良いと思うこと>

●日本で数少ない不登校特例校ができることには希望を感ずた。

<課題、難点>

●まさにいじめ問題に特化し過ぎだと思う。今の世の中には難しいことになってきた人との触れ合いが、本来人として育つことに必須だと思う。少なからずとも嫌な気持ち、悲しい気持ち、苦しい気持ちも体験しなければわからないこと。そこに見守れる大人がどれだけいてくれるか。身近な親や先生が余裕がなければ孤立するのは当たり前。特に小中学学校の先生の仕事の見直しは大切だと思う。

●障害者支援、不登校支援に対応するのに人手不足を感ずる。気軽に相談できない。

●学校以外の多様な学びへの支援がない。

●不登校特例校が新設されますが、私立ということもあり、授業料が高いです。フリースペースについても利用料がかかります。民間の施設に通う子どもたちについても資金援助があるといいと思う。

●不登校の子ども達が学習支援を受けられる場所が少ない。居場所も必要だけれど、遊んでいるだけでは高校入試で不利になる。適応指導教室などは手続きが大変。

●教員の不足。教室に行けない子どものフォローができていない。通級の手前のフォローがない。

●児童館やのびすくなど、市で子どもと関わる施設のスタッフの中には、不登校、不登園に対して理解が進んでいないと感ずます。学校(幼稚園)復帰への圧はいまだに根強く、悩みの渦中にある親を更に追い込んでいます。

●子どもたちと一番に接する先生方への教育(世間知らずな先生も多い)。先生方への研修の充実。

●市民性もあると思います。子育て世代の偏見も多いし、学校関係も他人事。子どもは親が見るものという意識だけが高いと感ずます。

●不登校は震災直後から問題にされていることが多いですが、フリースクールとか市で支援している施設あるんですかね?ないのでは?ほとんど知らない。子育てしてないからということもあるだろうが、問題視してる割に学校任せなのかなとも思う。

●学校教育では、集団に馴染めない子どもの居場所づくりなど子どもの状況に合わせた学びの環境づくりや発達に課題のあるお子さんへ関わる教員の学びが足りないと感ずる。そもそも、教育現場での担任の役割

も多く、人手不足が起きている。未就学児から義務教育へのギャップが激しい（インクルーシブ、シチズンシップを尊重した関わりから、右ならえの集団教育）発達支援学級などの利用も、認定の有無に関わらず希望する誰もが利用できるものとなってほしい。

●情報があっても限られており、居場所を利用できる人もごくわずかである。そもそも学校が機能不全とみられても仕方がない側面がある。

●知的障害がある子にも学びの場の選択肢が増えたらと思う。発達障害に比べ、知的障害の子の進路は1択または、2択しかない。

●不登校が多く、子どもの居場所が確保されているか心配。

●今の教育は、子どもが自分の意見を持つこと、人と違うことをすること、自分らしさを表現することを阻んでいると思う。不登校支援について。我が家は不登校ではないが、身近に当事者がたくさんいます。居場所や支援が少なく、大変だという声を聞きます。不登校になっている子は、勉強は好きだけど学校が合わないという子が多い。今の学校のやり方に拒否反応を起こしている。不登校は大変だけど、拒否反応を起こすということは、ある意味正常であり、自分の意思があるということ、言われるがままの我が子と比べて羨ましく思ってしまう部分もある。不登校当事者こそ子ども本来の姿だし、その人たちを大事にして欲しい。

●仙台市が大きくなりすぎたのか人数が不足しているのか手が回っていないような気がする

●昔から変わって無いのかなというイメージ。

●東京と比べると、名門校と呼ばれる学校の層が少なく、仙台で子どもの教育をするべきかどうか迷う。

●仙台はいじめのニュースが全国の中でも多いので子供が大きくなった時、小中学校に通わせるのが不安。

●いじめ問題に取り組んでいない、子供を守る気がかんじられない。

●仙台はいじめ問題が他県より多い気がしてこれから小学校に通わせるのが何となく怖いです。いろいろな親がいるので子供たちの中でも社会やランク決めがされている世の中で自分の子供はのびのび生きれるのか子供を守れるのか不安になることもあります。また先生が弱い立場になっているのが納得いかない。もう少し行政が先生たちの立場を守るようにしてあげてほしいと思う。

●学校の教員が、不登校支援の情報をあまり持っていない。

●発達や不登校の子どもに対する支援があまりにも足りない。仙台市や学校が不登校について真面目に取り組んでいるとは思えない。危機感がない。子供の方を向いておらず、反論したり現状を変えようとしている先生がどれくらいいるのか。校内でいじめのアンケート等をするが、それが活かされているとは思えない。

(3)子育て、子育て支援などについて。 44 件の回答

<要望>

●ママが気軽に集まれる場所を積極的に作って欲しい。

●子どもの医療費支払いを後から還元ではなく、窓口で払わなくてよいようにしてほしい（その仕組みの自治体もあります）

●幼稚園、保育園、学校、病院、児童福祉施設はすべてオーガニック給食にして欲しい。

●貧困家庭への支援を増やしてほしい。

●放課後デイサービスの利用料の収入制限をやめてほしい。一律 4600 円にしてほしい。現在 37200 円支払っているが、親の収入で子供のサービスが変わるのが非常に腹立たしい。

●仙台に限った話ではないが、保育園と幼稚園の統合を強く望む。長時間預けることができ、かつ幼い頃からの教育もしてもらうことができる施設が欲しい。そのような保育施設は現在の保育施設よりも費用が嵩むことが考えられるが、できた際には家計からの多少の支出は厭わない。

●一時保育をもっと増やしてほしい

●児童手当等の送付先が世帯主のみは不満がある。経済的DVはなかなか表に出ないため定期的に送付先の確認や世帯主以外を選択できるようにしてほしい。

<アイデア、意見>

●市の家庭健康課やのびすく、児童館など子どもの情報や行事を発信しているところはとても多いと思う。ただ、それが一つ一つが孤立していてつながりがない。もう少し上手く連携を取れないものかと思う。

●障害児が保育所の利用を希望して、園も受け入れると言っているのに、アーチルが利用を認めないのが理解できない。医療的ケア児の保育所利用が全国と比較して少なすぎる。

●みんなの地域・みんなの子どもを地域社会が共有できることが、豊かな未来に繋がると思います。

●ワーカーズコープなど、地域の人々が主体となって課題を解決する取り組みの支援

●子どもや家族の意見を聞く機会を積極化に設けるべき。

●インクルーシブを目指してほしい。小さいときから様々な人が共に過ごす環境が続けば一人一人が互いを認めあえるのでは。

●保育士や先生の待遇を良くしてもらいたいです。長時間勤務が常態化してます。数が少ないのでその分激務だと思います。給料の面の改善だけでなく、人数を増やして子ども一人ひとりの成長を親と一緒に支えてほしいと思います。子どもの成長を見守る人材の質と量を上げてほしいと思います。

●カウンセリング等、専門家に相談することの大切さを啓蒙する必要があると思う。敷居を下げて色々な場面で活用してもらいたい。

●縦割り組織で子育ての問題を考えることに無理があると思う

●トップの裁量で、いくらでも変えられるということ、他都市を見て私たちは知ってしまいました。子どもが楽しく暮らし、前向きに学べる環境へ、行政でなければできないことをしっかりやってほしいです。

●事件?度重なっているのは、対象人口がおおいから。他の市町でもありうること。

●仙台市は決まりごとが多く、柔軟さや新しいことに対するイノベーション力が乏しい。今までのやり方、進め方、リスクばかりが先行し、スピードが遅い。東北の中心都市として、隣県の取り組みを柔軟に真似て、プライドを持って進めてほしい。民間の団体や個人には志を持った団体が多く、モデル事業をたくさん実践してほしい。障がい児支援が圧倒的に全国から遅れ、不足している。

●トップダウンで学校へ権限移譲をしてほしい。

●発達の遅れや偏りについて、相談できる場が少ない。2ヶ所しかないアーチルに集約し過ぎている。民間や法人の事業所と連携して、相談しやすくしてほしい。

●定型発達、発達ゆっくりな子に関わらず通学時に支援を受けられる制度があれば、いいなと思う。

●核家族を超えて交流できる環境が必要

●乳幼児の時期に屋外で遊ぶ・過ごす経験が子どもの育ちにとっては大切だと思うが、子育て支援施設は屋内施設ばかりできているように思う。

●仙台市が出来ないなら、それが出来る民間に助成金を出して下さい。真面目にやっているフリースクールを支える事が子供達を救う事に繋がります。

●夜間の電話相談、実際に見てもらえるとかがあるといいと思う。

<良いと思うこと>

回答なし

<課題、難点>

- ここ数年のいじめ自死事件の対応の仕方を見て、不信感がある。
- 学生には優しいけど、子育てはしにくいとよく聞く。
- いじめ等のニュースが多いと感じる。
- 仙台市だから特別な制度がほとんどない。
- 医療費助成や夜間診療など、子育て世帯には厳しい。共働き世帯の子供支援も充実していないように感じる。
- 給食費無償化出来ず、手当の所得制限もある。
- 何年か前に子連れで他県から転入しました。仙台市の子育て環境がハード面、ソフト面共に脆弱で愕然としました。とても子育てできないと思い就労を考えますが、保育施設の質の低さや、子育てに理解のない職場が多く、こちらも難航しました。結局、保育の質も理解のない職場も妥協して就労し、常に悶々としながら過ごしています。
- 行政関係の方々がマニュアル通りで全く話にならない。子どもが育たない街であるなら、ドーナツ化現象で富谷や名取に子育て世代はまだ育てやすい街に移っていくのかと思う。
- 保健師との保育園の連携が全く取れない。困っていても「保育園に登園しているなら大丈夫」と言われた。虐待疑いのお子さんでした。登園してない時に死んでしまったらどうするんだと思った。所詮お役所仕事。めんどくさいことは園任せ。責任感のない仕事をしていると感じる。何かあったら園のせいにして責任逃れするんだろうなど思う。仙台市は子ども、子育てする人にかなり冷たい市町村第一位だと思います。こんなところで自分は子育てしたくないと思う。結婚したら子育てしやすいところに引っ越したい。絶対仙台市では子育てしない。
- 新生児が生まれたときのお祝いがゴミ袋だった。今はもう少しましらしいけど、また仙台で子供を産む気になれなかった。耳が悪いパパママの家庭だと、電話が使えないので簡単に相談できない。
- 所得制限が多く、また保育料も高めに設定されているように感じる。オムツを配ったり、インフルエンザの予防接種が無料になったりと他の自治体では当たり前に行われているところが人口が多くて胡座を書いているのか市民の声を聞く耳がないように感じる
- 以前乳幼児の子育てで困った時に相談したが、精神科の医師リスト渡されておしまいだった。それが子育て支援なの？助けを求めても無駄なんだと思った。そんな支援しかできないなら人材置いていても人件費だけかかるだけ、それなら現金給付でもして、子どもたくさん育てたい家庭を助けてあげて下さい。私は仙台で子供を産み育てたいとは考えません。
- まず、出産費用が高すぎる。他県と比べ費用が高すぎてびっくりした。そして0-2歳までの保育料も高すぎる。働いても保育料でもってかれるという現実。なんとなくみんな余裕とゆとりが無い子育て世代だと思ってる
- ゴテゴテ。民間の力も使い、子どもの今をとにかくだいじにしてほしい。検討中は、いつ、答えが出るのか？子育ては待った無しであることをもっと考えてほしい。
- アーチルへのつながりも悪く、アーチルからさらに繋がる支援が遅い。子育て支援や不登校支援の乏しさが目立つ。
- 近所に親族が住んでいるなどでない限り、周囲と協力しやすい環境ではないと思う。

●ファミリーサポートなどあるが、結局ファミサポさんの家に連れて行かなければならないのなら、保育所の一時預かりと何が違うのだろう。「いろんなサービスありますよ～」的にパンフレットを大量に配られたけど、かゆいところに全く手が届いてなくて使いにくく、結局一度も利用したことがない。

Q5.「子どもの権利」について思うことがあればお聞かせ下さい。(記述)

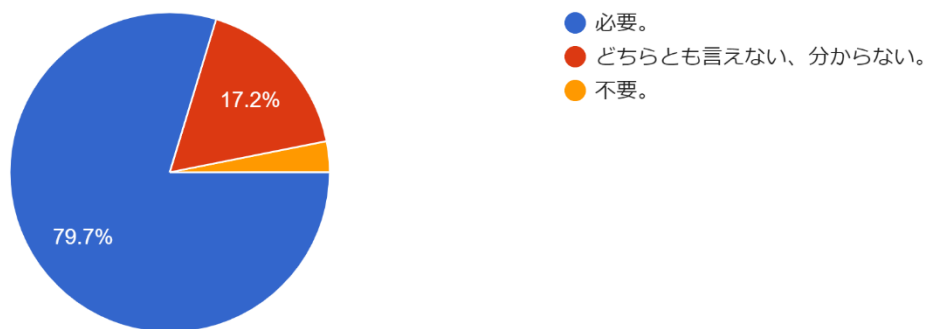
39 件の回答

- わがままではなく成長するのに必要だということを、まずは親に知ってもらいたい。漠然としているが子育てとは何かということ、赤ちゃんの時だけではなく、幼稚園、小学校と上がるたびにそれに見合った説明が必要になってきていると思う。
- 知らない人が多いと思う。自分の子に何かが起こって初めて知る人も多いはず。日頃から「子どもの権利」について正しく情報を流す必要があると思う。
- 子供にも人権があるという基本的な意識が抜けている人も多いと思う。
- 子どもの人権を学校の授業で教えてほしい。そして、大人も学ぶ機会が必要。人権侵害に子どもが気づいた時に、救済される仕組みも必要。
- 子供の権利がわからないため、これから勉強します。
- 子どもも大人も人権を持ち尊重される一人の人間として対等であること。
- 「子どもの権利」を知らない大人も子どもも多いと思う。親子で侵害してしまっていることに気付いていない場合もあるのでは？
- 子どもの権利西村について学ぶ気運を高めるべき。
- 子どもは大人が導く存在でなく、一人の人間として敬意をもって接したい。障害のある人にも通じる。こどもファーストの社会や地域づくりを根付かせていきたい。
- 子ども自身に権利があるということ学ぶ機会がほしい。権利とはなにかそれはどのようなものか大人も知ることが大切だと思う。
- 子どもの権利を学ぶ機会を増やす。今は、質も大事だが、知ることができる場をたくさん設けるべき
- 多数の意見に従うのが常で、少数派はおかしいという意識が根付いている為、一人一人に人権があるという意識は、とても低いと感じる。ましてや「子供の人権」については考えもしないのではないだろうか。
- 子どもの権利と親の義務(保護責任)について学びたい
- SDGs 並に社会に広まっていければよいと思う。
- 県議会で、改正の際に、委員として携わりました。仙台市も、まずは作る事で、改めて子どもは、親とは別人格である、人権を尊重する必要があると認識するのではないのでしょうか?"適切に学び、誰もが権利を守られる社会になってほしい。適切に学ぶということが難しいことなのかもしれないという実感もある。もどかしいです。
- 教育に取り入れることはできないのか？
- タリバンのような差別がない限り、過保護にする必要があるのかな？
- 公立小学校はなんでも平等公平で個性が活かないなど感じる時があります。正直勉強不足で回答できないところはあるのですが、子どもの人権、を子どもたちも親も捉えやすいもう少し身近な表現にしていけたら良いですね。

- 子供の権利と母の権利がないがしろにされている。共生社会やインクルーシブという言葉だけでは一人歩きし、結局は昔ながらの風習が根付いている。
- 子どもの権利もそうですが、子育て世代に優しい権利もあっていいのでは？
- 保護者も含め、子どもの権利を知る人はいないに等しいです。これをどう今の保護者に知らせるかが保育園に勤める私たちが考えなくちゃいけない課題だと感じます。
- 子どもは親の言う事を聞くべき、子どもが主張するのは反抗という認識が、自分の親ですらある。子どもが持つ当たり前の権利(それはいわゆるどういうことか)が、子どもに関わる事業の関係者を中心に、地域に周知する必要がある。もっと理解する義務を持つことが大切。
- 衣食住医療、基本的人権を守ること。それを条例に入れて欲しい。
- 子どもが権利を持つことを不都合に感じる大人が多い。
- 子供には親の能力を超えることができることを認識して子育てしてほしい
- 私自身子供時代に「お前に権利なんか無い」と吐き捨てられた。子供へ教えるだけでなく、親世代・高齢者世代への周知も必要。子供なんだから何したって良いと思っている人間はあちこちに居る。
- 他県より教育現場でいじめ等が見過ごされている。こどもの人権は教育現場で教えてほしいが、肝心の教育現場がこどもの人権無視した状態。
- 子供の権利は当たり前のことでありそれを当たり前と思わない大人が多いのも事実なので学びの場を意図的に作ってほしい。
- 子供の権利について、学校で習った人間からすると、存在自体は知っているが内容はほぼ知らないというのが現状だと思う。子供は何ができて何をしてはいけないのかを規定し、市民に知らせることで、子供の権利を守ることが必要だと思う。
- 他の市で行ってるような、子どもからすぐ弁護士や専門家に相談できる窓口を学校外にいくつか設置して欲しい。
- 子供の権利は子供が主張するものなので大人の意見のみなのはおかしい。子供達に幅広く回答を求めべき。
- もう少し子供たちが意見できる場を設けてもいいと思う
- 「子どもの権利」という言葉にアレルギーを持つ人がまだまだ多い。誤解をもとに議論がされ、話が空中戦になってしまうことも多いように思う。「人権」「権利」などへの理解が進むことが重要。
- 子どもの権利は広がってほしい。子どもたちはできる。あてがうでなく、そんな場をたくさん作っていききたいし、作ってほしい。
- 教育の機会は権利だが、不登校の子どもには提供できていない。また、公立学校に通えないために配慮のある私立校への通学を検討しているが、その助成もないことは、平等の権利が保障されているとは言えないのではないか。
- 作って終わりの感じが否めない。作った側の人間がその権利を使ってどうするかまでのヴィジョンが全く見えない。実行する大人がいなければ無いのも同じです。子供が当たり前に学校行ってる家庭は不登校も子供の権利も知らずに生活出来るので。
- 広く浅くこういうものなんだと根気強く広めていくしかない。大人の頭は固く、意識を変えられる人は少ない。
- 子どもが権利を行使するにあたって適切な教育がされているのかについては、疑問を感じる。
- 子どもの権利に関する条約や条例が必要なのは、今の社会で子どもが犠牲になっているからだと思う。

Q6.仙台市には「子ども・子育てに関する条例」が必要だと思いますか？(ひとつ選択)

64 件の回答



Q6.について、ご意見があればお聞かせ下さい。(記述)

26件の回答

- ぷちネグレストのような家庭が増えてきたように思う。子どもも1人の人間で親のペットではないということ意識づける指針になればと思う。
- 条例があった方が良くと思うが、実際制定している都市にいる住民も知らないという人も多く、広めるための活動も合わせて考えていかなくてはと思う。
- 条例をきっかけに、学校や地域みんなで考えていく必要があると思う。
- 仙台市では、子ども権利条例は必ず必要。
- 条例を作るまでに対話を重ねたい。全市民が共感できる条例を。
- 親の関心は教育や子育ての環境に関心が大きい。転勤族も多く、安心して仙台へ異動できるイメージづくりは大事。地元出身者と多様な交流が生まれることで、子ども達の成長にも繋がると感じる。
- 条例を作ることで意識が変わるのではないかとと思う。
- 条例があるかどうかの方が大切だとは思いません。条例がなくても機能するようなコミュニティになればベストだと思います。
- 子ども自身、権利主張できるように、子どもたちも、知るべき
- 条例制定ありきでなくてもいいのかなとも思いますが、それを提言されている理由もあると思うのでもう少し勉強せねばという意味でわからないと回答しました。
- 子供の権利を守るために、母親の権利を守って欲しい。母親が守られていないのに子供は守れない。
- まず子育て支援に携わる者ならみんな当然に知ってないとおかしいと思う。市役所職員は読み込むべきだと思います。
- そもそもないことについての課題や必要性は仙台市にはあるんでしょうか？
- 市が明確にすることで、多くの市民に子どもの権利を可視化できるのではと思う。
- 子ども家庭庁は、デジタル化、子どもの健康、学力、家庭環境、ワクチン接種などの情報のデータ化が一番の狙いのようなので、自治体でしっかり個人情報を守るための条例を作って欲しい。
- 市民の声で作ったという意識が大切。
- 子供がいち早く大人化できる環境が整備されると思う

- 子ども条例という存在自体が、仙台市は子供を守るべき存在として捉えてくれていると思うし、市民も意見を言いやすくなる。
- 子供条例があったとして、具体的に子供たちやその親にどういった違いが実感できるのかよく分からない
- 条例がないと動かないのが行政だと思うので。
- 子どもの権利は、子どもにこそ、周知して行ってほしい。
- 子どもが教育をはじめあらゆる機会を平等に受けることができるようにしてほしい。
- 条例がある事で市を動かす事が出来るなら必要だと思う。
- 子供条例によるメリットデメリットがよく分からない。
- 周囲に頼れる相手の少ない家庭などを、行政がサポートする仕組みは整えるべきだと思う。
- とりあえず、今のままでは良くない。何かが変わるなら、ないよりはあったほうが良い。

Q7.「子どもの権利」などについて広めるためのアイデアがあればお聞かせ下さい。

42 件の回答

- 小学校の道徳の時間、春に話題をあげ秋冬頃に子どもの率直な意見をきき、学年でまとめ学校→仙台市とまとめる(先生の負担になるかな…)。
- 学べる、話せる、確認できる相談所や施設があるのはいいと思う。
- まずは、子育て世代から楽しみながら「子どもの権利」を学べるようなイベントなどを企画する。
- 今の小学生はSDGsについての勉強にかなり時間を割いている様子なので、それと同様に学校教育に取り入れられればかなり浸透すると思う。
- 海外で実践されているように、牛乳パックなど日用品のパッケージに子どもの権利コラムをのせる。
- 地球社会が環境も含めてこれだけの激変只今で、まずは、多様性ある子どもたちの生きる力を育むための生命体験等を重視する学びのスペースを公が認可し、促進してゆくことが大切。そこで培われる子どもたちの感性こそが全く新たな社会的リノベーションに繋がっていくと思う。その土壌を潰さないことが大人の役割だと思う。
- 学校は「子どもの権利」を学び、尊重した場づくりが必要。学校が難しいのであれば、保護者や地域で出前授業をしたり、子ども自身も考えるきっかけを持てるよう、サポートする団体があると良い。
- 市長を交えての意見交換会の実施
- 子ども会議は良さそうです。この質問を子どもに問いかける授業を設けるとか。
- 子ども達は大事な存在だと本人達に伝える場が必要。何が当たり前か判断が難しい。一緒に遊べる、体験できる、語り合う機会を沢山つくって欲しい。
- 子どもの権利を子供と一緒に考える機会をつくる。学校教育の中でもじぶんのたちのことを大切に考える時間を作る。
- 子ども達が、やりたい事・したい事ができるように、プレゼン大会や会議などをおこない。社会に参加し自由と責任を学びながら見聞を広く持てるようするとよいのは。
- 権利について学校で学ぶ機会を増やしてほしい。
- 子供の権利を学ぶ機会を増やす。権利について自治体だけでなく、司法関係の方の協力を得て、判りやすく具体的に学ぶ様にしたらいいのではないかな。

- こども会議に一票します。
- 子どもたちが意見を言い合ったり教え合う機会があるとよい。大学生が高校生に教え、高校生が中学生に教えるなど。大人から言われるよりも、同世代から言われることのほうが受け取りやすいと感じています。
- 現場に直接携わらないが教育に関する仕事をしている市の職員・市長はもっと未来を担う子どもたちの現状を知るために学校を訪問したほうがよいと思う。現実を知るべき。
- 地域を超えて子供が集まる場所の確保
- パンフを学校から配布。その際、最低1時間学時間をとる。
- 新聞やテレビ、ラジオ、YouTube、メディアを巻き込んでみんなで権利を学び考えていく企画をやる。一回きりでなく、継続的に発信できるようにコーナー化するのもいいのではないかと思う。良質な企画になれば、教材としても使いやすいと思う！学校、児童館、フリースクール、小児科などでも、活用できる場所はたくさんあると思う。(すでにあるのかな？あったら活用したいです！)
- 子どもたちが自分で考え表現する機会や場はもっと創造できたらいいです。権利主張だけする子どもにも育ててほしくないの、自分たちが主役として何をできるか考える場があると良いです。"
- 会議室レベルではなく、生の声を大切にしたい。
- まずは子どもたちが障害があってもなくてもどんな場所でも過ごせるようなしてほしい。行政機関の頭の硬さをなんとかしてほしい。話し合いにもならないし、子どもは親が育てるもの的な意見は仙台市で聞き飽きた。社会で育てて行ける市になるように上記のことを真剣に取り組んでほしい。
- 子どもがのびのび遊べ、保護者も気軽に悩みが言える子どもの遊び場があればいいと感じる。
- 子どもの権利を守る相談所は、結局人の配置だけで活かされない窓口の二の舞いになる。(そうした窓口がたくさんある) 保育園など子どもの人権を守り事業を運営している施設を活用し、地域活動を行う取り組みに助成を出すなどはどうでしょう？仙台は学生の街です。大学生の研究力を活かし、大学の学校、学生力をもっと活用してはどうでしょう？ユース世代にもっと参画してもらいたい(大学生の定住にも寄与するのは?)
- 放課後の学校施設をもっと有効活用すれば、送迎や費用等の様々な体験格差問題が解決できると思う(チャレンジ中です！)
- 子供会議いいと思います。
- 石巻などが参考になるかも。
- ボール遊び出来る公園が増えたらと思う
- 学校だけでなく、子どもたちが集まる場所(白石市のこじゅうろうキッズランドのような)で、イベントの一環として行う。
- 学校だけだと子どもだけで終わってしまうので「仙台市」として学べる、子どもだけでなく、親世代、高齢者世代も一緒に学ばなければならない。
- 子供も大人も子供の権利について学べる施設やイベントを開催する。ただではこない人が多いと思うので何度か来場すると電気代が安くなるポイントが貯まるなど、高齢の方や面倒なことが苦手な方でもすぐに生活に反映できるメリットを持ったイベントや施設を設けることで来場者数を増やし理解を深める。
- 若者としては、若者に何かを知らせるためには SNS の活用が欠かせないと思う。少なくともわたしの周りの友人(大学生)は、わたしも含め、テレビを全く見ないため、そもそも SNS 以外では知らせる方法が少ない。またこのアンケートのように匿名で意見を言うことのできるツールは大好きなので、あとはいかに拡散されるか否かだと思う。

- 広報や電車バスに広告をだす。
- 子供達で話す機会を設ける。
- やっぱり現役の子供たちの声が聞ける場があった方がいいとおもう。直接顔を出せない子はリモートであったり顔を隠しながらであったり工夫しながら
- 「子どもの権利」という言葉にアレルギー反応を起こす、ある層の方に、適切に理解していただく。誤ったイメージ操作による誤解と思われる部分は、特に解きほぐしていきたい。石巻市の「らいつ」のような施設も、あってよいのでは。
- 子ども会議、子どもの権利を大事にする遊び場の設置。仙台も進めて欲しいし、進めていきたい。
- 子どもの権利を守る委員会は有識者だけでなく実際に困っている子やその家族を複数入れて運営してほしい。
- 学校以外に子供が楽しく本気で学べる居場所を作る。(学校と同じ様に卒業証書も出す) 仙台市が金を出し、(学費も) 福祉事業所や学校を作りたい有志を募り任せる。学校以外の学校があるといい。
- 児童養護施設をより明るく、誰でも使えるようなものと言う認識に変えた方がいい。保護施設を多く設置する。
- LINE やテレビなど、人の目に触れやすいメディアを通して発信する。
- 小学校の授業で取り上げる。総合学習みたいな。

Q8.自由記述。感じたこと、メッセージ、仙台市がどんなまちになったら良いかなど。

34件の回答

- 今の子どもたちの口癖が「めんどくさい」である。たぶん親がよく使うのであろうし私たちも無意識に使っているのだと思う。そのめんどくさいが少しでも減るような日々なら、これやってみようかな?とかそれ行ってみようかな?とか前向きになれるのかな。めんどくさいを上回る地域や学校などの行事や施設ができればいいのかな。具体的にはおもいつかなくてすみません。
- それぞれの地域でムラが出来ないように満遍なく子育て政策を行ってほしい。
- 子どもだけでなく、女性や弱者の人権も守れる、安心して暮らせるまちになってほしい。
- 子どもの権利普及はこれから絶対必要です。
- 不登校が多いのは悪いことではなく、みんなで子どもたちについて本気で考えるきっかけになっている。これから仙台は大きく変わっていくと思う。
- 市民の意見を受け止められる謙虚な行政組織
- インクルーシブを目指してほしい。小さいときから様々な人が共に過ごす環境が続けば一人一人が互いを認めあえるのでは。
- 仙台は東北の中心。仙台の良い事例が東北へと広がるのではないか。"
- 大都市である仙台は、地方都市の希望だと思う。自然も豊かでスポーツも盛んだし、高等教育も充実している。より全国各地から人が集まり、多様な価値観を発揮できる都市になって欲しいし、していきたいです。
- 中途半端なまちっていうひともいますが、自然も近く街場も近い過ごしやすい環境だと思っています。その地の利を生かした活動もいっぱいあり、沢山の人が関わって自分のことだけでなく他の人に目を向けてつながりを持って行けたらいいなと思います。

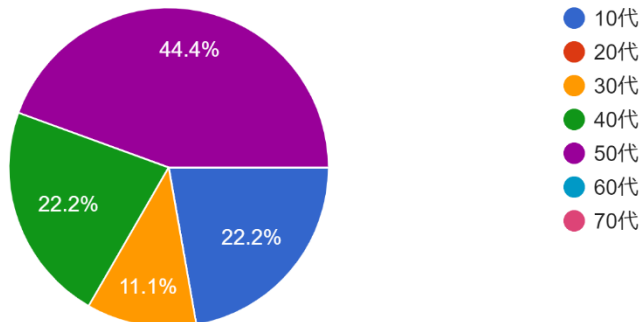
- 小さいグループがたくさんあるこれを大きな渦にできれば、最高です。
- 民間で活動されている団体がたくさんあることに気づきました。支援を必要とする人がリーチしていける仕組みを作っていくことが大切であると思います。支援の狭間にある人もたくさんいるのが現状です。
- 活動、頑張ってください。出来る限り、お手伝いいたします。
- 改めて、先延ばししている場合ではないと思った。行政の動きだけでは足りない。子どもが子どものうちに、私たちが考えて動いていかねばならないと思う。
- 仙台市は転勤等で一時的に過ごしている人も多く、過ごしにくくても後何年かすれば解放されるからと、声が上がらない様に感じる。アーチルという他の地域では類稀なシステムがあっても中身が伴わず、これでは箱もシステムもなく人だけが的確に稼働している地域の方がよっぽど当事者が暮らしやすいと感じる。財源がないから中途半端なことになるのか…問題点を整理して欲しい。
- もっとこの声が広がり、役所の人を動かす力になればいいなと思います。頭が硬い人が多いからむずかしいことも多いですが、仙台市で子育てしたいと思える市に。安心して住める街になったらいいなと感じます。
- 東北一の子育てし易い街になってほしい。
- 「自分でも社会を変えることが出来る!」ぐらいの夢を持った子供たちがドンドン増えれば良いと思う。
- 自分自身が子供の権利について勉強不足だと思いました。これからの仙台市がより良い街になるように協力できる事があればしていきたいと思います。
- 子どもの声を聴く場を設ける。
- 大阪府泉大津市の市長は素晴らしいと思っています。見習って欲しいです。
- 明石市に学んで思い切った改革をして欲しい。
- 障害のある子も暮らしやすくするため、放課後デイサービス利用料の収入制限撤廃を強くお願いします。
- 色々な個性や特性を持った子供たちを含めて、それぞれの立場で暮らしやすい街になってほしい。
- 公共施設が少なく人々が安心して生活できる環境が整っているとは言い難い。地域の施設が充実すれば市民の交流が広がり困った時に助け合える関係が気づけるのではないかと思う
- 学都の名にふさわしい教育都市になったら良いと思う。
- 声を上げやすい街にしてほしい。
- もう少し笑顔とゆとりがある仙台市になってほしいです。みんな自分が一番な感じがして生きづらい。手を取り合って他人でも協力しあって楽しく生きていけたらなと思います。近所付き合いも中々無い世の中挨拶だけでも笑顔でできるようになればいいなと思います。
- 「杜の都」とも言われ、まちとみどりが物理的には近くにある仙台のまちの中で、子どもたちが十分に遊べていないのはもったいない。「子どものために作った施設」だけでなく、地域環境・自然環境を活かして遊び育つようなまちになったらいい。
- 子育てしやすい街。多世代交流できる街。地域に長く住みたくなる街。繋がり会える環境作りをしてほしいし、していきたい。
- 全世代が暮らしやすく支え合えるような社会になってほしい。
- 生きづらい人達の声拾い、それがストレートに市に届き、直ぐにリアクションが市民に届く町であって欲しい。
- 仙台はある程度住みやすい。色んな人の悩みや意見を沢山聞いて、より良くてできていくといいと思う。
- 仙台は民間の子育て支援団体が活発だなと感じた。でも、どこも資金難で活動の幅が狭められているのは残念だなと思う。助成金も申請のハードルが高くて大変。それと、仙台にはベビーシッターが少なく、全国

組織の会社は値段が高い。東京では保育園待機家庭に対して、1時間数百円でベビーシッターを利用できる利用券が配られると友達に聞いた。うらやましかった。仙台にもっとベビーシッター文化が普及してほしい。

<仙台市外の宮城県民向け>「子どもの権利・子ども条例」仙台市についてのアンケート調査
回答数9件

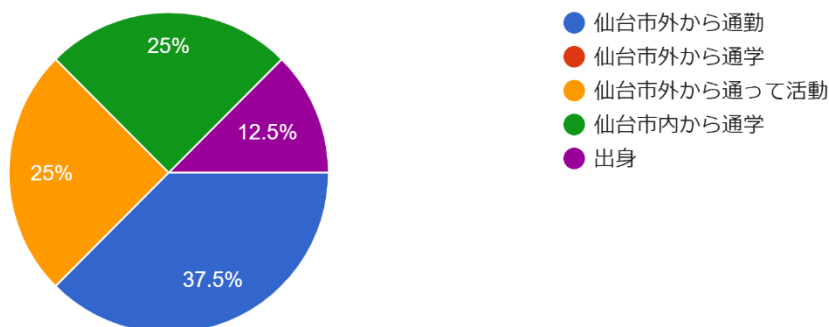
世代を教えてください

9件の回答



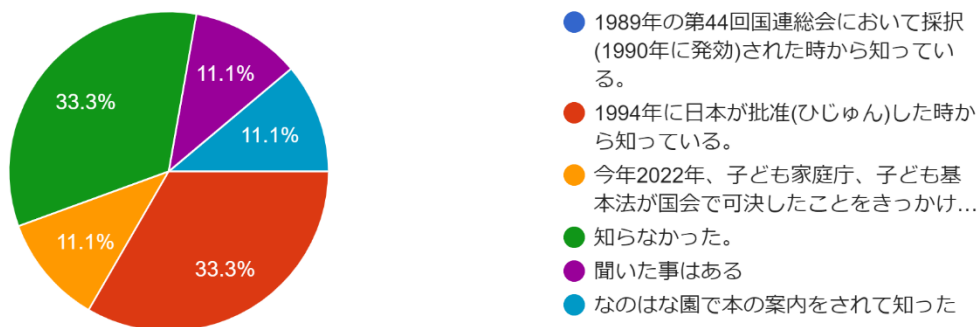
仙台市との関わりについて教えてください。(ひとつ選択)

8件の回答



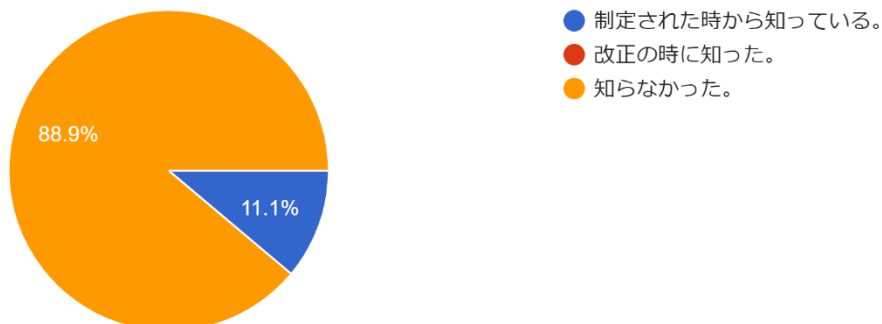
Q1.「国連・子どもの権利条約」を知っていますか？(ひとつ選択)

9件の回答



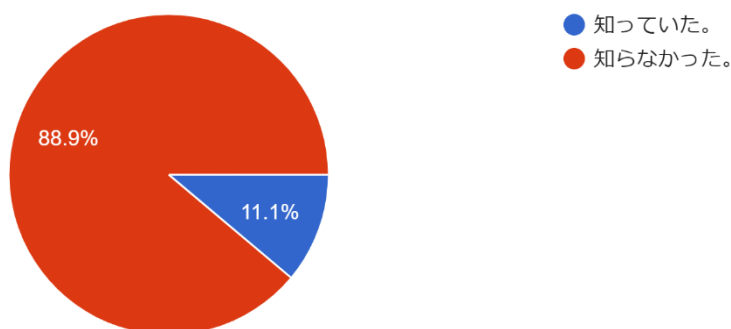
Q2.「みやぎ子ども・子育て県民条例」があることを知っていますか？(ひとつ選択)

9件の回答



Q3.仙台市には「子ども・子育てに関する条例」が無いことを知っていましたか？(ひとつ選択)

9件の回答



Q4.仙台市について思うことがあればお聞かせ下さい。(記述)

(1)遊び場、居場所、地域の環境などについて。9件の回答

<要望> なし

<アイデア・意見>

● 支援学級を作らない学校があるのが嫌。

<良いと思うこと> なし

<課題・難点>

● 広く充実している所には人が集まるが、そうじゃ無い所にはあまり人を見かけない。

● 都市なので仕方がないが、地面のある公園が少ない。山形市に引越して公園の多さが印象的です。

● 公共の大型室内遊び場がない。

- 児童館が狭くて、窮屈。館によってカラーが違う。職員の考えが古いところもある。致し方ないが、研修しても自由さを受け入れられず、変わらない人達も。
- 公園がない。山形のような駐車場も無料の大自然、公園も魅力的な場所が仙台はない。
- 不登校児の居場所が無い。泣く子と手を繋いで歩いていたら、「子どもが泣いてるんだから、泣き止ませないと」と通過人に説教された。プレーパークが無い、少ない。
- お店の入り口に段差があると多くてベビーカーや車椅子だと入る前にあきらめちゃう。
- 下校後、学校の休業日に大人が見守るなかで自由に遊ぶ場が少ない。親が気軽に相談できる人と地域で出会えない。

(2)学び、学校、不登校支援などについて。 6件の回答

<要望>

- 先生は理解してくれている。が、理解していない先生にあたることはないのか?と思う。先生や校長先生によって対応が違うのではないことを望みたい。

<アイデア・意見>

- 行政や専門家が地域の中で気軽に話せる場所をつくり、都合のよいときにふらっと立ち寄れるとよい。

<良いと思うこと> なし

<課題・難点>

- 支援学級の評判が良いところに子供が集まると、元々学区内の子供の支援がおろそかになって迷惑。
- 仙台市に限ったことではないけど、登校に価値をおいた、前提とした支援では苦しい子どもへの対応が乏しい。
- 画一的。
- 支援学級を作らない学校があるから支援学級がある学校に越境する子が居て、折角支援学級に居るのに先生の手が足りなくなった。

(3)子育て、子育て支援などについて。 6件の回答

<要望>

- 地域の中に居場所がない。市民センターの事業等に参加しなくても専門家が常駐して自由に話を聞いてもらえるカフェのような場所がほしい。

<アイデア・意見> なし

<良いと思うこと> なし

<課題・難点>

- 政令指定都市や学都と言う割に児童福祉に遅れを感じる。
- 対応がお役所仕事すぎる。
- 保育園が硬い。細かい衛生管理より、もっと先生の心が安らぐように緩めても良いと思う。
- 支援は無い。お金があれば、有料託児は助かった。
- 健診で発達障害が疑われる子の親に療育の大切さの説明や療育施設の案内が無い。

Q5.「子どもの権利」について思うことがあればお聞かせ下さい。(記述)

7件の回答

- 支援学級を作って欲しいという意見には学校は対応して欲しいし、特別支援が必要な子供のための人員確保をして欲しい。
- お利口な子どもを求めすぎていて息苦しい。失敗は大事と言いながら、子どもを取り巻く大人が答えを求めすぎ。
- 子どもに権利がある事を子どもに伝えることが大事。
- 大人の言う通りにしなくてはいけない。保育園では、昼寝。時間になれば、席につく。命令に従うことが社会通念なので、難しいのかもしれない。親の変革もなければとも感じる。
- 指導、相談できる人材がいない。
- こどもも「一人の人間」として扱わない教員が少なからず居るのが不満。
- 困窮家庭、ヤングケアラー、虐待などについて子供も親も学べる機会をつくりたい。学校や児童館以外でも子供が相談しやすい居場所がほしい。

Q6. 仙台市外から仙台市に通勤通学、仙台市に通って活動していると思うことがあればお聞かせ下さい。

(記述) 2件の回答

- 不登校の多さを、オルタナティブ普及、先進都市へのチャンスと前向きに進んでほしい。
- 宮城県の情報が入りにくい。連携が必要。

Q7. 「子どもの権利」などについて広めるためのアイデアがあればお聞かせ下さい。

7件の回答

- 各学校での講演会や子どもの権利に関するパンフレット配布。
- 公設民営プレーパーク。公園へのプレーリーダーの配置。道遊びのような地域交流の推進。
- 家族で子どもの権利を話し合えるような機会をつくる
- 学校で親も一緒に権利について学ぶ機会をつくる。
- 子どもに直接指導。
- 学校で研修をする。
- 子供の権利を専門に考える委員会が行政や民間の垣根を越えて情報を集め、発信したり改善したりする。

Q8. 自由記述。感じたこと、メッセージ、仙台市がどんなまちになったら良いかなど。

6件の回答

- 医療ケアがある子が単独で行ける児童館や放課後デイサービスが増えて欲しい。
- 仙台、宮城は魅力的な方が大勢活動されてます。大学の教員や学生と繋がり、若者の活躍を広げてほしい。

- 新しく変わるチャンス。楽しい学校を作ってほしい。山形の東根の広場の様な子どもの自由が確保され場所がほしい。
- 「こどもの権利」を主張して「放し飼い」の親が居るので、親にも教育が必要。
- 異業種（教員も含めて）での対話の機会をつくり、関わりたい人をつなぐと新しいアイデアが出るのではないかな。
- 私は気仙沼在住ですが、気仙沼は周りの自治体に影響をうけるので、ぜひ条例を作ってください。

子どもの権利などに関する条例は全国にたくさんありますが仙台市にはありません。「子ども家庭庁設置法」「子ども基本法」が6月12日に国会で可決、6月22日に公布となった2022年、座談会、アンケート調査を行い、皆さんと一緒に考えてみました。

- ・仙台市内での座談会
 - ・子ども・子育てに関する条例を制定する市町村へのアンケート調査
 - ・仙台市民、仙台市に関わる方々へのアンケート調査
- 以上をまとめた冊子を作成しました。

【このアンケート調査とまとめについて】

2022年12月～2023年1月中旬まで、GoogleフォームをSNSなどで配布して実施。

- ・仙台市民
- ・仙台市に関わる方々（仙台市外在住の方）

にご回答頂きました。

回答内容の整理にあたって、入力ミスなども見られたため一部調整している部分があります。

【このアンケート調査、まとめ、冊子に関するお問合せ先】

「子ども・子育てに関する条例の調査研究室」扇かおり

080-5222-7558

この調査は「公益財団法人倶進会」の助成を受けて行いました。